



し ょ う が い
障 害 に つ い て の
せ か い ほ う こ く し ょ
世 界 報 告 書



[The main body of the page is blank white space.]



この報告書ほうこくしょに書いてあることか

この報告書ほうこくしょについて 1



障害しょうがいについてわかっていること 3



いろいろなことかを変へえていく方法ほうほう 10



しなければならないこと 17



行動こうどうをおこすには 20



[The main body of the page is blank white space.]



この報告書について

世界保健機関(WHO)と世界銀行が、
この報告書を作りました。



世界保健機関(WHO)は、すべての人が
できるだけ健康でいられるようにします。



世界銀行は、貧しい国にお金を送り、
その国の暮らしをよくするのを手伝います。



2006年に世界の国々の政府は、
障害のある人の権利についての約束をまとめた
「条約」を作りました。

この報告書ほうこくしょに書いてあること



● 障害しょうがいについてわかったこと



● 障害しょうがいのある人のためにいろいろなことを良よくしていくには、政府せいふは何をしなければならぬか



「障害しょうがい」とは、毎日まいにちの生活せいかつをとてもむずかしくする健康けんこうの問題もんだいのことです。



このようなむずかしさは、健康けんこうの問題もんだいだけが原因げんいんではなく、多くの場合おおばあい、ほかの人ひとが原因げんいんで起こります。



この報告書ほうこくしょでは「知的障害ちてきしょうがい」という言葉ことばを使つかっています。これを「学習障害がくしゅうしょうがい」と呼んでよいる国くにもあります。

しょうがい 障害についてわかっていること



しょうがい ひとびと かず
障害のある人々の数はふえています。

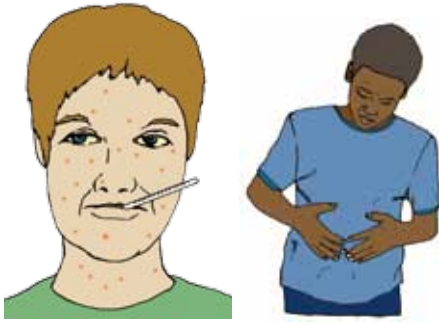
せ かい にん にん しょうがい
世界では、100人につきおよそ15人に障害が
あります。これは、35年前に私たちが
かんが かんが おお
考えていた数よりも多くの
しょうがい ひとびと
障害のある人々がいるということです。



にん ふたり よにん ひと
100人につき2人から4人の人が、
おも しょうがい も
とても重い障害を持っています。

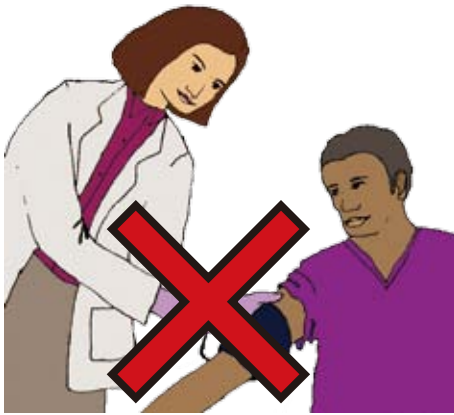


ひとびと なが い
人々が長生きするようになり、また、
とし と しょうがい も
年を取るほど障害を持ちやすくなるために、
しょうがい ひと
障害のある人がふえているともいえます。



その他の理由^{りゆう}

- 障害^{しょうがい}をひきおこすかもしれない病気^{びょうき}にかか
る人がふえている。



- いつもきちんとした医療^{いりょう}を受けられるとは
かぎらない。



- 戦争^{せんそう}、交通事故^{こうつうじこ}、洪水^{こうずい}や台風^{たいふう}などの災害^{さいがい}が
原因^{げんいん}で障害^{しょうがい}を持つようになる。



- きちんとした食物^{たべもの}を食べていなかったり、
薬物^{やくぶつ}を使ったり、お酒^{さけ}を飲みすぎたりする。

しょうがい ひと ひとり ちが
障害のある人は、一人ひとり違います。

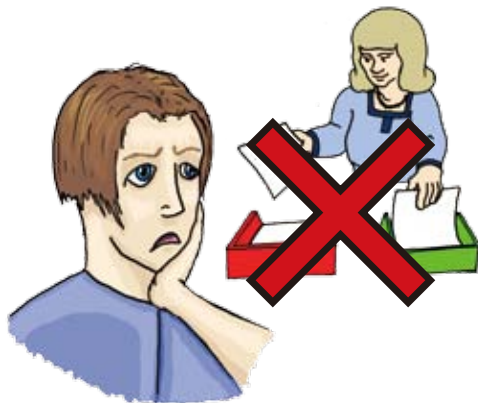


しょうがい えいきょう か のうせい
障害は、いろいろな影響を与える可能性があります。

- しょうがい おんな ひと じよせい しょう
障害のある女の方は、女性であることと障
害のために、不公平なあつかいを受けるこ
とが多い。



- ちょうかくしょうがい し かくしょうがい ち てきしょうがい こ
聴覚障害や視覚障害、知的障害のある子ど
もは、身体障害のある子どもよりも学校の
せいせき わる
成績がたいてい悪い。



- こころ けんこう もんだい ひと ち てきしょうがい
心の健康に問題のある人や知的障害のあ
る人は、仕事についたり、仕事を続けたりす
ることがむずかしいと感じている。



- おも しょうがい ひと ひと おな けんり
重い障害のある人は、ほかの人と同じ権利
を手に入れることがとてもむずかしい。



しょうがい も ひと
障害を持ちやすい人もいます。

しょうがい も ひと
障害を持ちやすい人

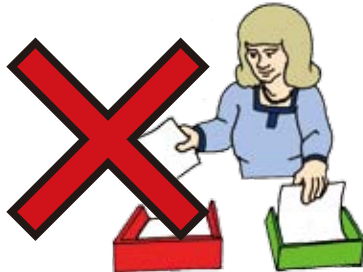
● まず ひと
貧しい人



● おんな ひと
女の人



● としよ
お年寄り



● しごと も ひと
仕事を持っていない人



● がっこう せいせき があまりよくなかった人



● しょうがい こ まず かてい しょうすうみん
障害のある子どもは、貧しい家庭や少数民族
ぞく おお
族に多くみられます。



しょうがい ひと かべ 障害のある人にとっての壁

しょうがい ひと さん か
障害のある人が参加できないのは、
からだ けんこう もんだい りゆう
体や健康の問題だけが理由ではなく、
たいていはほかの理由があります。

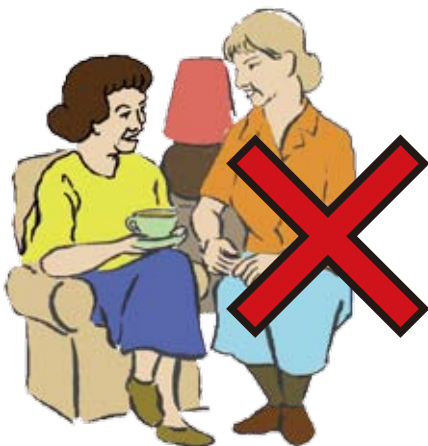
たとえば



- しょうがい こ がっこう い きかい あた
障害のある子どもに学校へ行く機会を与
える決まりをみんながきちんとつか
いていない。



- しょうがい こ じょうず
障害のある子どもが上手であることを期待
していない。



- しょうがい ひと ひつよう ふくし
障害のある人が必要な福祉サービスや支
えん う
援を受けていない。



- 障害のある人が質の良い福祉サービスを受けていない。



- 福祉サービスの利用料を払うための十分なお金がない。



- 障害のある人は、あちこち移動したり、連絡をとったり、交通機関を使ったりするのがむずかしいと感じることがある。



- 障害のある人の多くは、参加したり、意見を聞きいれてもらったりすることがない。このため、自分で選んだり、決めたりすることが妨げられています。



- 障害についての情報や、さまざまなことが障害のある人にどう影響するかについての情報をみんなが十分に持っていない。



これは、^{しょうがい}障害のある人^{ひと}にとってどういう
ことを意味するのでしょうか？

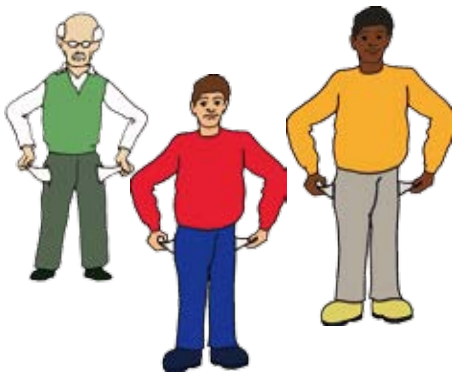
ほかの人^{ひと}よりも健康状態^{けんこうじょうたい}が悪い^{わる}。



がっこう^{がっこう}の成績^{せいせき}が悪い^{わる}ことが多い^{おほ}。



しごと^{しごと}がなかったり、あまりお金^{かね}を稼げない^{かせ}仕事^{しごと}に
ついたりすることが多い^{おほ}。



まず^{まず}貧しい^{かのうせい}可能性^{たか}が高い。



ちいき^{ちいき}社会^{しゃかい}の一員^{いちいん}になれないことが多い^{おほ}。これは
家族^{かぞく}にも影響^{えいきょう}を与える^{あた}ことがある。

いろいろなことを変えていく方法



これから紹介するアイデアは、
政府が障害のある人の生活をよくするのに
役立つでしょう。



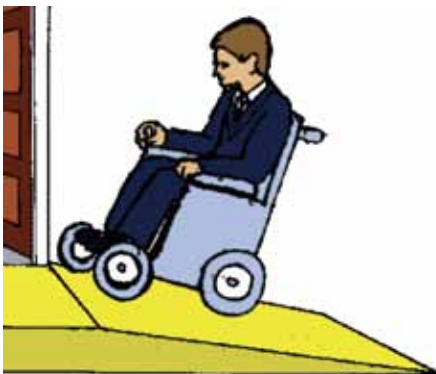
良い医療を受けるために

障害のある人に必要なのは

- 役に立つ、確かな情報



- 障害のある人に一番わかりやすい方法で
伝えてもらうこと



- 障害のある人が利用できる建物と病院



● 障害のある人が住んでいる場所の近くで
受けられる医療



● 医療について選べるが増えて、どれを
選ぶか自分で決められるようになること



● 医療費の援助



● 障害についてわかってもらうために、医療
を行う人むけの研修に参加する機会



いろいろなことを自分自身じぶんじしんでしている 人ひとにとって

必要ひつようなのは

- 暮らしがひどく悪わるくなる前に、早はやめに助け
てもらおうこと



- 自宅じたくや近所きんじよで受けられる支援しえんや福祉サ一
ビス



- 自立じりつに役立やくだてられる、車くるまいすや電子機器でんしききな
どの技術ぎじゆつ



- いろいろなことを自分自身じぶんじしんでしている人ひとへ
の支援しえんについてわかっている、十分じゆうぶんに研修けんしゆう
を受けた支援者しえんしゃが増えること



- 障害しょうがいのある人ひとが必要ひつような支援しえんのための十分じゆうぶん
な資金しきんをきちんと用意よういできる福祉サ一
ス機関きかんと団体だんたい

たす
助けてもらうために

しょうがい ひと ひつよう
障害のある人に必要なのは



- ちいき く らすための支援がふえること



- ちいき での福祉サービスがふえること



- しょうがい ひと かぞく や、お金のもらうこと
なくしょうがい ひと せわ をしてくれている
ひと へのよい支援



- しょうがい ひと のそれぞれのニーズにあ
せて考えられた支援



そと せ かい で さん か 外の世界に出て行って参加するために

しょうがい ひと ひつよう
障害のある人に必要なのは

● 公共の建物や交通機関が使えること



● やく た じょうほう じゅうぶん
役に立つ情報と十分なコミュニケーション



● じりつ すす やくだ でんわ
自立を進めるために役立つ、電話やコン
ピューターなどの新しい技術



● みんなが利用しているものや活動の計画
を一緒に立てること



これは、しょうがい ひと さん か ほうほう
これは、障害のある人が参加できる方法を
みんなでさが もと
みんなで探し求めなければ、
じつげん
実現できないでしょう。



がっこう だいがく せいせき あ 学校や大学でよい成績を上げるために

しょうがい こ
障害のある子どもたちのほとんどは、
みんなが通っている学校に行ったらほうが
よい成績をあげられます。



こ
子どもたちは一緒に大きくなり、
いっしょ べんきょう しょうがい こ
一緒に勉強するので、障害のない子どもたちが
しょうがい
障害についてわかるようになります。



しょうがい こ ひつよう
障害のある子どもたちに必要なのは

- しょうがい こ おな
障害のある子どもには、ほかの子どもと同
じように学ぶ権利があるという決まり



- しょうがい こ がっこう
障害のある子どものニーズに合った学校、
し えん がくしゅうけいかく
支援、学習計画



- しょうがい こ ふつう がっこう う
障害のある子どもたちを普通の学校に受
け入れる方法を知っている、十分な研修を
う きょうし
受けた教師



しごとも 仕事を持つために

ほとんどの国には、障害のある人にはほかの人と同じく、仕事を持って、仕事を続ける権利があると決めた法律があります。



しょうがい ひと ひつよう
障害のある人に必要なのは

● しょうがい ひと はたら か
障害のある人が働けるように変えていくこと
かんが ひと
について考えてくれる人

● しごと くんれん しえん
仕事をするための訓練と支援



● はたら あいだ しょうがい も
働いている間に障害を持つようになった場合、仕事を続けるための支援
あい しごと つづ しえん



● じぶん かいしゃ つく しえんきん
自分で会社を作るための支援金



● しごと いえ
仕事をしないで家にいるよりも、仕事につ
いたほうが多くのお金が入る手当や給
おお かね て はい てあて きゅう
付金の仕組み
ふきん しく

しなければならないこと



^{いりようじゅうたく こうつう き かん} 医療、住宅、交通機関などの事業機関が
^{きょうりよく} 協力していけば、いろいろなことが
^か 変わっていくでしょう。



^{せい ふ} 政府はこうした事業機関、障害のある人々と
^{かぞく こうてきき かん た き かん} その家族、公的機関、その他の機関と
^{きょうりよく} 協力しなければなりません。



ときには、政府がお互いに助け合ったり、
わかっていることを教え合ったり
しなければならないでしょう。



^{わたし} 私たちは、しなければならないこととして、
9つの「^{かんこく} 勧告」をまとめました。



1. 障害のある人がほかの人と同じものを使えたり、同じ活動に参加できるようにする。



2. 障害のある人が自分自身でいろいろなことをするのを助ける福祉サービスを作る。

これには、次のようなものが考えられます。



- 車いすや補聴器の支給
- 研修
- 支援者



3. 障害のある人のために、国の計画を立てる。

4. 法律を決めたり、福祉サービスを考えたりするときに、障害のある人に参加してもらう。





5. みんなに障害について教え、障害のことをもっとよくわかってもらう。障害のある人を助けられるように、職員の研修をすることも考えられる。



6. 障害のある人が利用代金を支払える、質の良い福祉サービスを用意する。



7. みんなが障害について理解するのを助ける。



8. 障害についてのより確かな情報を集める。



9. 障害についての調査研究がうまく進められるようにする。

「調査研究」とは、計画を立てて、注意深くいろいろなことを調べることです。

こうどう 行動をおこすには



せいふ かつどう
政府はこの活動を
どんどんすすめていくことができますが、
ほかのひとさんか
ほかの人も参加できます。

せいふ 政府ができること



- ほうりつ しょうがい ひと ひと おな けん
法律で、障害のある人にほかの人と同じ権
りあた
利を与える。



- しょうがい ひと ひと おな
障害のある人がほかの人と同じものをつ
かえたり、おな かつどう さんか
同じ活動に参加できるように、けい
かく た
画を立てる。



- しょうがい ひと くに けいかく た
障害のある人のために、国の計画を立てる。



- 質のよい福祉サービスについての決まりを作り、それが守られているかどうか確かめる。



- 国の計画を実行するための十分なお金や人をきちんと用意する。



- 障害のある人が建物、交通機関や情報を利用できるようにする決まりを作る。



- 障害のある人が貧しくならないようにする方法を見つける。



● 障害のある人についての情報を集める。

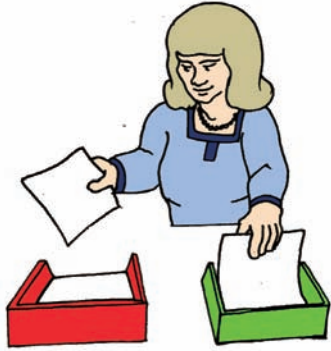


● みんなが障害について理解するのを助ける。



● 障害のある人の権利が守られていないと
考える人が不満をうたえる方法をきちんと決める。

こくれん き かん 国連機関ができること



- 国連の活動を通じて障害のある人々を助ける。



- 情報交換し、協力し合う。



- いろいろな国が障害のある人をもっとうまく助けられるように手伝う。



- 障害のある人についての情報を集めて報告書に書く。



- 障害についての調査研究を手伝う。

しょうがい ひとびと だんたい 障害のある人々の団体ができること



- しょうがい ひと じぶん けんり
障害のある人が自分たちの権利について
しらべ、できるだけおおくのことを自分自身で
するのを手伝う。



- しょうがい こ かのう ふうつう
障害のある子どもたちとその家族が普通
の学校に通えるよう助ける。



- ちいき くに せかい ちいき かいいん
地域や国、世界のほかの地域の会員のた
めに意見を言う。



- ふくし サービスの質のチェックに参加し、ふく
しサービスをよくするためのちようさけんきゆう
をてつだう。



- みんなが障害しょうがいについて理解りかいするのを助けるたす。



- 障害しょうがいのある人ひとにとって、建物たてものや交通機関こうつうきかん、
お店みせがどのくらい使つかいやすく、いろいろな
活動かつどうが参加さんかしやすいかをチェックする。



福祉サービスふくしを提供ていきょうしている人たちが できること

- 障害しょうがいのある人ひとが参加さんかできない理由りゆうや、情報じょうほう
を得えられない理由りゆうを調べる。



- 障害しょうがいのある人ひとに職員しょくいんの研修けんしゅうに参加さんかしてもら
う。職員しょくいんには障害しょうがいのことをきちんとわかっ
てもらおう。



- 障害しょうがいのある人ひとやその家族かぞくと協力きょうりょくして、福祉ふくし
サービスの計画けいかくを立たてる。



- 障害のある人に必要な支援をするために、ほかの福祉サービス機関と協力して情報を記録し、交換する。



- 障害のある人々に、権利のことで不満を訴える方法について、きちんと知らせる。

大学ができること



- 障害のある人々がこれまでよりも簡単に学生や職員になれるようにする。



- 授業で障害のある人々の権利について教える。



- 障害のある人々の団体と協力し、障害についての調査研究をする。

ち い き し ゃ か い 地域社会ができること

- 障 害 の あ る 人 へ の 接 し 方 に つ い て 考 え る。



- 障 害 の あ る 人 が 地 域 社 会 に 参 加 す る 方 法 を 見 つ け る。



- 障 害 の あ る 人 が 地 域 の 学 校 に 通 え る よ う に し、ほ か の 人 が 利 用 し て い る こ と を す べ て 利 用 で き る よ う に す る。



- 障 害 の あ る 人 へ の い じ め に 立 ち 向 か う。

障害のある人とその家族ができること



- 支援や情報、アドバイスを^え得るために、お互いに^{たが}助け合い、ほかの^あ家族のことも^{たす}助ける。



- 障害のある人の^{けんり}権利について、^{ちいき}地域の人々に^{はなし}話を^{たす}する。



- みんなが^{しょうがい}障害を^{りかい}理解するのを^{たす}助ける。



- 障害のある人のために^かいろいろなことを^か変えられるグループや^{かいぎ}会議に^{さんか}参加する。



- ^{ちようさけんきゆう}調査研究に^{さんか}参加して、これまで^{じぶん}自分たちに^お起こったことについて^{はなし}話す。



世界の国々の政府は、
障害のある人の権利を守ると約束しました。



この報告書には、今、
いろいろなことがどうなっているのか、
そして何を^{なに}変えていかなければならないかが
書いてあります。



これらのアイデアが、
障害のある人が一緒に育っていくことができる、
より良い世界を作るのに
役立つことを願っています。



この報告書は、世界保健機関 (WHO) の許可書
がなければコピーすることはできません。

メールアドレス:

mackenzier@who.int

までご連絡ください。



報告書を作った人たち

この報告書は、2011年6月、インスパイアド・サー
ビス・パブリッシングリミテッド (Inspired Services
Publishing Ltd.) のイージーリード・サービス
(EasyRead service) が、世界保健機関 (WHO)
のために作りました。 (Ref ISL 017/11)



アクセシビリティのチェックは、知的障害のある
大人たちのグループ、メイキング・イット・イージー
ヤー・グループ (Making It Easier Group) がおこ
ないました。



さし絵は、バリューイング・ピープル・クリップ
アート・コレクション (Valuing People Clipart
collection) から選びましたが、インスパイアド・
サービス・パブリッシング・リミテッドの許可書がなけ
れば、ほかのどんな場所でも使うことはできません。



インスパイアド・サービスへの
お問い合わせはこちらへ

www.inspiredservices.org.uk

この報告書の日本語訳は、国連の許可を得て、
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会が行いました。
監修は、長瀬修(東京大学大学院経済研究科特任教員)が行いました。

お問い合わせはこちらへ:
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
メールアドレス:dinf-j@dinf.ne.jp